

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせた作成も可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-85

**部門名:**  
校内研修プログラム開発・実践部門

**エントリー名:**  
愛知県豊橋市立新川小学校

**活動名:**  
プログラミングを習得せよ  
全面実施へのスタートアップ講座

**解決すべき課題: 全職員がプログラミング教育の必要性を理解し、授業を行う際に必要な技能を身に付ける**

2020 年、新学習指導要領が全面実施となる。大きな改革の 1 つが「プログラミング教育の必修化」である。全面実施を控え、勤務校の全職員にプログラミング教育に関する意識調査を行った。(5 段階評価の平均)

(1) プログラミング教育はどの程度必要だと感じますか。… 3. 22  
 (2) プログラミングの授業をやりたいと思いますか。… 2. 72

自由記述の欄でも、「どのように必要かわからず、教えられる自信もない」や「これからの子どもにとっては必要となるが、実際にどのように授業をすればよいのか」という記述が見られた。このことから、以下の 2 点が課題として浮かび上がってきた。

①「プログラミング教育の必要性を周知すること」 ②「授業をするための技能を習得すること」

**目標・方針: 教師自身がプログラミングを体験し、繰り返し学びながら授業を行う技能を習熟する**

上記の 2 つの課題を解決するために、全職員を対象としたプログラミング教育を体験的に学ぶ研修を企画した。『小学校プログラミング教育の手引き(第 2 版)』(文科省)に「何より、教師が自らプログラミングを体験することが重要です(p. 4)」とある。研修の第一歩として、プログラミングを体験的に学ぶことはプログラミング教育全体のイメージをもつために有効であると考えた。

しかしながら、一度の研修で全てを習得できるわけではない。そこで、定期的な情報提供や学びを深めたり、復習したりできるようなアフターフォロー研修も併せて行う必要があると考えた。

**活動内容: 「全職員で体験的に学ぶ研修」と「定期的な情報提供とアフターフォロー」の 2 本柱で構成する**

「全職員で体験的に学ぶ研修」は、以下の 3 つのパーツで構成した。

活動 1: プログラミング教育の必要性や実施の経緯を伝えるプレゼンテーション(資料 1)  
 活動 2: 「Blockly Games」を用いたプログラミング的思考体験  
 活動 3: 自作の自主学習テキストを用いた「Scratch」によるプログラミング体験

全体研修後には、新たな情報を知ったり、研修内容を復習したり、深めたりするために、以下の 2 点を行った。

活動 4: 「学習情報だより」などの発行による定期的な情報提供(資料 2)  
 活動 5: 月に 1 回、15 分程度のミニ研修によるアフターフォロー(資料 3, 4)

**活動の成果: 参加者全員が「とても役に立つ」と回答する講座となった**

研修を進めていく中で再度、意識調査を行った(5 段階評価の平均)。

(1) プログラミング教育はどの程度必要だと感じますか。… 3. 22 → 4. 22 (+1. 00)  
 (2) プログラミングの授業をやりたいと思いますか。… 2. 72 → 3. 89 (+1. 17)  
 (3) 本講座は、あなたにとって役に立つものでしたか。… 5. 00

活動 1, 4 により、プログラミング教育の必要性を周知することができた。また、活動 2, 3, 5 により、プログラミングの授業をするための技能を習熟することができた。

**アピールポイント(アイデアや工夫):**

1. 定期的な情報提供やアフターフォローを行うことで、研修の内容を復習・深化させることができた。
2. 体験を中心に組み立てることで、授業をするための技能を習熟させることができた。
3. 作成した資料群を市の学習情報部で共有し、他校でも使用できるようにした。

**【資料 1】プレゼンテーション資料(一部) p**

**【資料 2】情報提供の資料例: プログラミング教育全体構造図**

**【資料 3】ミニ研修の内容**

- タブレット PC を使ってみよう
- 正多角形の授業で使えるプログラミング
- マイクロビットにできることはどんなこと?
- 授業に思考ツールを取り入れてみよう!

**【資料 4】ミニ研修の様子**

